



ミソサザイ（鶺鴒）

（2006年5月6日撮影）

はる いずみがたけ ゆき と はじ がわ
春、泉ヶ岳の雪が融け始めるころ。ヒザ川やヤシ
がわ げんき な はじ
キ川ではこの元気な「ミソサザイ」が鳴き始めます。

おお ちい
大きさはスズメよりも小さいくらい。

ちい からだ ゆきど みず おん
そんなに小さな身体なのに、雪解け水がごう音を
なが かわ おと ま たか こえ な
立てて流れる川の音に負けない高い声で鳴き、その
こえ けいりゅう うたひめ い こえ
声は「溪流の歌姫」と言われるくらい、きれいな声
です。

なまえ ゆらい みそ た
名前の由来は、「ミソ」は「味噌を食べたから」
みそ す い
とも「溝に棲むから」とも言われています。それに、
ちい い み ふる
「ササイ」というのは「小さい」という意味の古い
ことば あ い
言葉から。この2つを合わせて「ミソサザイ」と言
われています。

かわべ き ね いわかげ す つく
川辺の木の根や岩陰に、コケで巣を作ります。

○よく会える時期：3月下旬から5月下旬ごろ

○よく会える場所：ヒザ川、ヤシキ川の川辺